

【テーマ1】 多彩な都市の魅力があふれ、楽しく過ごせる大阪

めざす方向	<p>◎「大阪都市魅力創造戦略 2020」に基づき、「世界中から人、モノ、投資等を呼び込む『強大大阪』」、「世界に存在感を示す『大阪』」の実現をめざします。</p> <p>(中長期の目標・指標)</p> <p>※大阪都市魅力創造戦略 2020 に掲げた主指標 (令和 2 年度までにめざす目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来阪外国人旅行者数 1,300 万人 ・来阪外国人旅行消費額 1 兆 1,900 億円 ・国際会議開催件数 340 件 ・延べ宿泊者数 3,600 万人 ・府内外から人々が集まり、芸術活動が活発になっていると思う府民の割合 40% ・文化的環境が整備されていると思う府民の割合 40% ・大阪にゆかりのあるプロスポーツ7チームの年間主催試合での観客者合計数 360 万人 ・成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 50% ・大阪で学ぶ留学生数 23,000 人、大阪で働く外国人労働者数 61,000 人
-------	--

大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	▷	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	▶	＜進捗状況（取組結果）＞
<p>■ 世界第一級の文化・観光拠点形成・発信</p> <p>◆ 水と光のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民共通のプラットフォーム「水都大阪コンソーシアム(*1)」による水辺・水上の魅力創出・にぎわいづくりの推進 ○水辺のにぎわいづくりなど水都の魅力を結集し、その魅力を発信するイベントを実施 ○舟運のさらなる活性化を図り、より多くの方々が船に乗り水都大阪を楽しむ機会を増やす取組みを実施 <p>(スケジュール)</p> <p>通年 舟運事業者・関係者とのネットワーク形成・強化</p> <p>元年 9~10 月 「水都大阪フェス」の実施</p>	<p>◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水都大阪フェス」を実施 ・舟運創造・活性化推進事業を実施（水辺・水上関連イベントとの連携等） 	<div style="border: 1px solid black; background-color: #d4edda; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>年度当初は空欄</p> </div>		

・観光拠点である大阪城公園内における公共船着場の整備に向けて設計し、工事に着手

(スケジュール)

- 31年4月～ 詳細設計入札手続き
- 元年6月～ 詳細設計
- 元年10月～ 整備工事入札手続き
- 元年11月～ 整備工事
- ※整備工事は2年度までの債務負担行為を設定

・クルーズ船の増加等に対応するため、係留施設の整備に向けた基本計画を策定

(スケジュール)

- 31年4月～ 関係機関調整
- 元年7月～ 基本計画入札手続き
- 元年8月～ 基本計画

・喫水調整機能を付加したクルーズ船の新建造等を行う事業者に対し、その整備に必要な経費を支援

(スケジュール)

- 元年5月～ 事業計画公募
- 元年7月～ 事業者補助申請準備（設計・見積等）
- 元年8月～ 補助金交付申請受付
- 元年9月 交付決定
- 元年10月～ 事業開始（クルーズ船の建造等）
- ※当該クルーズ船の完成は2年度予定

・大阪城港に公共船着場を整備するため、詳細設計及び整備工事を実施

・水の回廊内に係留施設を整備するため、基本計画を策定

・中之島の東西を結ぶ舟運を活性化するため、喫水調整機能を付加したクルーズ船の新船建造等に対する補助を実施

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・水都大阪のさらなる「成長」の促進
- （数値目標）
- ・舟運利用者数：125万人
（平成30年度：123万人(見込み)）

年度当初は空欄

◆万博記念公園の魅力創出

- ・大阪万博 50 周年を記念した事業を進める
- ・万博記念公園駅前周辺地区の活性化に向け、事業者誘致の具体化を図る。また旧大阪府立国際児童文学館の事業者誘致について、引き続き手続きを進める
- ・入場者数増加に向けた取組みの推進
指定管理者や園内事業者と連携を図りながら、公園の新たな魅力づくり、利用者の利便性向上や広報・イベントの積極的な展開等を進める

(スケジュール)

元年 11 月～2 年 2 月 (内 10 日間程度)
大阪万博 50 周年記念特別展覧会の開催
2 年 3 月 15 日
大阪万博 50 周年オープニングイベントの開催

◆百舌鳥・古市古墳群(*2)の魅力創出

- ・5 月のイコモス(*3)による勧告を踏まえた取組みにより、本年 7 月の世界文化遺産登録を実現
- ・イコモス勧告後に急増する来訪者への対応と情報発信の実施

(スケジュール)

元年 5 月頃 イコモスからユネスコへの評価結果の勧告
元年 7 月 世界文化遺産登録の可否が決定
元年 8 月以降 国内外へ向けた PR の実施

◇活動指標 (アウトプット)

- ・大阪万博 50 周年を記念した特別展覧会や、オープニングイベントの実施
- ・万博記念公園駅前周辺地区及び旧大阪府立国際児童文学館の事業者誘致
- ・万博記念公園の施設改修、コンテンツやイベントの拡充等

◇成果指標 (アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン (平成 27 年 11 月策定) に基づき、公園の新たな魅力を創造し、国内外から多くの利用者を引きつける

- (数値目標)
- ・自然文化園の入場者数 : 270 万人以上
(平成 30 年度 : 239 万人)

◇活動指標 (アウトプット)

- ・百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の実現
- ・百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産としての周遊環境整備と国内外に向けた情報発信

◇成果指標 (アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・世界文化遺産としての海外における認知度向上
 - ・百舌鳥・古市古墳群の魅力の発信及び周遊性の向上

年度当初は空欄

◆大阪周遊促進事業

- ・大阪の多様な魅力を発信するとともに、周遊できる仕掛けづくりを行うことにより、インバウンドを含めた来阪旅行者の府内における周遊性を向上
- ・今年度は、「百舌鳥・古市古墳群周遊事業」として、世界文化遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群の周遊性向上に取り組む

◇スケジュール

- ・古墳群をめぐる周遊ルートの策定
 - 31年3月 プロポーザルによる事業者公募
 - 31年4月 委託事業者決定・事業開始
 - 元年7月～ 周遊ルートの策定・情報発信（ガイドブックの発行等）
 - ・来訪者の移動手段の整備（周遊バス運行）
 - 元年5月中 受託事業者決定（予定）
 - 元年7月以降 バス運行開始（予定）
- ※世界文化遺産登録が決定された場合のスケジュール

◇活動指標（アウトプット）

- ・古墳群をめぐる周遊ルートの策定と情報の発信
 - モデルコース：府内3コース以上
- ・百舌鳥・古市古墳群への誘導に向けた広域交通の整備
- ・来訪者の移動手段の整備による府域への誘客

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・百舌鳥・古市古墳群の魅力を発信及び周遊性の向上（再掲）

年度当初は空欄

◆大阪観光局の活動支援による戦略的な観光集客

・大阪観光局が実施する国内外での戦略的なプロモーション、Wi-Fi 環境の整備推進、観光情報の発信等、集客促進に向けた活動を支援
また、国の地方創生推進交付金を活用して、観光データ収集、マーケティング強化を行うとともに、市町村との連携を深め、府域周遊促進を図る等、「大阪版 DMO（＊４）」としての機能強化を推進し、戦略的に観光集客を促進

（スケジュール）

通年 G20 大阪サミット、ラグビーワールドカップ 2019、ツーリズム EXPO ジャパン 2019 などの開催を意識したプロモーション活動の実施、府域内連携による周遊促進、マーケティング活動の推進等

◆MICE（＊５）誘致の推進

・「大阪における MICE 推進方針（29 年 3 月）」に基づき、大阪経済活性化などにつなげていくため、大阪市・経済団体・大阪観光局とともに、戦略的に MICE 誘致を推進

（スケジュール）

通年 他の関係機関との連携のもと、IR の動向を注視しつつ MICE 誘致活動を推進
時期未定 MICE 推進委員会の開催（年間 2 回程度）

◇活動指標（アウトプット）

- ・国内外プロモーションの実施、観光案内機能の充実、戦略的マーケティング調査の実施
- ・府域周遊促進を図るためのテーマ・エリアの設定と、その効果を測定できる手法の検討

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・国内外からの観光集客及び周遊ルートの設定による効果検証を行いつつ、府域周遊の一層の促進を図る
- （数値目標）
- ・来阪外国人旅行者数：1,225 万人
（平成 30 年度実績：1,142 万人）
 - ・延べ来阪宿泊者数：3,970 万人
（平成 30 年度実績：3,576 万人）

◇活動指標（アウトプット）

- ・MICE 推進委員会の開催とともに、MICE 誘致推進に向けた関係機関によるネットワーク強化

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・MICE を通じて、多彩な人が訪れ、集い、交流する活気あふれる都市をめざす
- （数値目標）
- ・国際会議開催件数：291 件（JNTO 基準）
（平成 30 年実績は、秋頃公表予定）

年度当初は空欄

■多様な観光資源の発掘・発信

◆国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出

・大阪のメインストリートである御堂筋を集客装置として活用して、非日常的なオンリーワンコンテンツを通じて大阪の魅力を国内外に発信し、多くの方に大阪を訪問していただくための起爆剤となるイベントを実施

(スケジュール)

元年 11 月 御堂筋オータムパーティー2019 の実施

◇活動指標 (アウトプット)

・御堂筋オータムパーティー2019 の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)

・御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信

(数値目標)

30 年度と同一目標を設定。メディア等に大きく取り上げられた昨年並みの露出をめざす

- ・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 90 回以上
うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 30 回以上
- ・Web 掲載回数 600 回以上

年度当初は空欄

◆ナイトカルチャーの発掘・創出

- ・「御堂筋イルミネーション 2019」と「OSAKA 光のルネサンス 2019」をコアプログラムとして、民間等の実施する光のプログラムと連携して、「大阪・光の饗宴 2019（*6）」を実施。大阪の観光振興の促進に寄与するような展開を図る
- ・夜間公演等に積極的に取り組む事業者に対して、事業の立ち上げやコンテンツの更なる向上等を図るために必要な経費を支援するとともに、夜間公演等の実施場所の確保について検討する

(スケジュール)

元年5月中 補助対象事業の決定

元年11月4日～ 2年1月31日

「大阪・光の饗宴 2019」の実施

(御堂筋イルミネーション：元年11月4日～元年12月31日)

◇活動指標 (アウトプット)

- ・御堂筋のイチョウ並木をインパクトあるイルミネーションで装飾する「御堂筋イルミネーション」をコアプログラムとする「大阪・光の饗宴 2019」の実施
- ・夜間公演等の事業の立ち上げや継続に向けた取り組みに対し、補助を実施
- ・補助上限額を1,500万円とする事業への補助を実施
- ・民間事業者による新たな劇場誘致に向け必要な調査を実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)

- ・よりインパクトある光空間を演出し、国内外からの更なる誘客につなげる
- ・夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーのさらなる充実を図る

(数値目標)

- ・大阪・光の饗宴全体の来場者数 1,750万人以上
(平成30年度：1,709万人)
- ・大阪・光の饗宴として連携実施する民間等の団体数を府域を中心にさらに拡大：20団体
(平成30年度：19団体)

年度当初は空欄

◆大阪ミュージアム(*7)の推進

・大阪ミュージアム登録物を活用して地域魅力を府内外に発信するとともにSNSやホームページ等による認知度を更に向上させる

(スケジュール)

元年 11 月 ホームページリニューアル

◇活動指標 (アウトプット)

- ・恒常的なまちの魅力向上支援事業により、地域団体によるまちの魅力向上・景観形成事業に対し、補助を実施
- ・ホームページを多言語化するとともに、観光局と連携しSNSを活用した情報発信の強化を図る。
- ・多言語冊子「DISCOVER OSAKA」をリニューアルして活用し、大阪の魅力を発信する
- ・民間イベントとの連携（イルミネーションフォトコンテスト、大阪割烹体験など）

◇成果指標 (アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・府内外への大阪の魅力発信、集客・周遊の向上
- (数値目標)
- ・参加者満足度 90%以上

年度当初は空欄

文化・スポーツを活かした都市魅力の創出

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（取組結果）＞
<p>■国際的なスポーツイベントの開催</p> <p>◆ラグビーワールドカップ 2019(* 8)の開催</p> <p>・本年 9 月開幕のラグビーワールドカップ 2019 日本大会の会場のひとつ、東大阪市花園ラグビー場で開催される 4 試合において、共同開催都市である東大阪市や組織委員会と連携し、安全・確実な大会運営を行う</p> <p>また、府域全体で大会を盛上げ、来阪者をもてなすとともに、積極的に大阪の都市魅力を国内外に発信する</p> <p>〔スケジュール〕</p> <p>元年 6 月 14～16 日 優勝トロフィーツアー</p> <p>元年 8 月 3 日 テストマッチ（日本 対 トンガ）</p> <p>・東大阪市花園ラグビー場試合日程</p> <p>元年 9 月 22 日 イタリア 対 ナミビア</p> <p>元年 9 月 28 日 アルゼンチン 対 トンガ</p> <p>元年 10 月 3 日 ジョージア 対 フィジー</p> <p>元年 10 月 13 日 アメリカ 対 トンガ</p> <p>※大会開催期間：元年 9 月 20 日～11 月 2 日</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>＜大会運営活動＞</p> <p>・試合当日の観客輸送、会場周辺の交通規制、警備などについて、組織委員会などの関係機関と調整のうえ、円滑かつ安全な運営に取り組む</p> <p>＜機運醸成・魅力発信＞</p> <p>〔大会開催前〕</p> <p>・主要ターミナル駅等への広告掲出・装飾、TV メディアなどを通じた大会開催 CM、大会 100 日前告知イベント、テストマッチでの PR、府内キャラバン PR などを行うとともに、大会の盛り上げに向け大阪の魅力を発信する</p> <p>〔大会開催時〕</p> <p>・大会と開催都市に触れる機会をつくるため、ファンゾーン（花園中央公園野球場・てんしば）運営を中心に大会情報や大阪の魅力を発信する</p> <p>・また、メディア向けの都市情報提供プログラム（PR 映像提供、ツアー実施）を展開する</p> <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（数値目標）</p> <p>・ラグビーワールドカップ 2019 花園ラグビー場開催試合関連の観客者・入場者数：約 15 万人</p>	<p>年度当初は空欄</p>

◆オリンピック・パラリンピックのホスタウン(*9)登録の推進等(オリンピック聖火リレー)

・東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成や国際交流、府民のスポーツへの関心や大阪の世界的な知名度の向上を図るため、引き続き、ホスタウン(*10)登録に係る市町村の取組みや、既登録の市町村の具体的な活動を支援する

また、東京 2020 オリンピック聖火リレー(*10)実施に向けて、ルートの詳細やランナー公募等について東京オリンピック・パラリンピック組織委員会等と協議、調整を進める

(スケジュール)

<ホスタウン>

通年 登録希望市町村の活動支援(ホスタウン希望国との調整等)

既登録の市町村への活動支援(既登録市町村及び全国のホスタウン事業の情報提供等)

<オリンピック聖火リレー>

元年 6月 組織委員会が通過市町村等(全国)を公表

元年中 ランナー公募実施

2年 4月 14日~15日 府内実施
(3月 26日 福島県からスタート)

◇活動指標(アウトプット)

- ・ホスタウン登録に係る市町村の取組みの支援件数 : 20件
- ・既登録市町村及び全国のホスタウン事業の先進事例の情報提供
- ・オリンピック聖火リレーの府内開催準備

◇成果指標(アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・ホスタウン登録の追加

年度当初は空欄

◆ワールドマスターズゲームズ 2021 関西(*11)の開催準備

・大会の認知度向上、機運の醸成を図るとともに、3年5月の開催に向けた準備を府内開催3市（岸和田市、東大阪市、泉南市）等と連携しながら進める

(スケジュール)

通年 府関係イベント等でのPR
インターネット等による情報発信
元年5月 2年前イベント
2年2月 参加者募集開始

◇活動指標 (アウトプット)

・認知度向上及び参加者獲得に向けた府関係イベント等でのPR：昨年度以上（平成30年度：62回）
・2年前イベント（組織委員会・府・政令市・競技開催市と連携した協働イベント）の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(数値目標)
・府民のワールドマスターズゲームズ 2021 関西の府民認知度：50%以上（平成30年度：22.5%）

■スポーツ都市大阪の魅力発信

◆大阪にゆかりのある主なスポーツチーム連携

・大阪にゆかりのある主なスポーツチームと連携して都市魅力の発信につなげるための取組を推進する

(スケジュール)

通年 大阪にゆかりのある主なスポーツチームによる連携事業の検討及び実施（各チームのホームゲームでのイベントの実施等）

◇活動指標 (アウトプット)

・大阪にゆかりのある主なスポーツチームと連携したイベントの実施：昨年度以上（平成30年度：延べ10回）

◇成果指標 (アウトカム)

(数値目標)
・大阪にゆかりのある主なスポーツチームと連携したイベントの観客者合計数：昨年度以上（平成30年度：13万人）

年度当初は空欄

◆第9回大阪マラソン(*12)の開催
 ・御堂筋、中之島、あべのハルカス、大阪城公園等、大阪のランドマークを32,000人のランナーが駆け巡る国内最大級の都市型市民マラソン「第9回大阪マラソン」を開催する

(スケジュール)
 31年4月 ランナー募集開始
 元年6月 公式イベント「大阪マラソンシーズン トライアル 2019 10K & ファンラン」開催
 元年11月 大阪マラソン EXPO2019 開催
 公式イベント「ハッピーモーニングラン」開催
 元年12月 第9回大阪マラソン開催(新コース)

◇活動指標(アウトプット)

・第9回大阪マラソンの開催(令和元年12月1日)

◇成果指標(アウトカム)

(数値目標)
 ・参加申込者: 昨年度以上
 (平成30年度: 127,757人、うち海外15,005人)
 ・参加ランナー満足度: 昨年度並
 (平成30年度: 国内97.2%、国外98.2%)
 ・沿道観客者数: 昨年度並(平成30年度: 130万人)

■オリンピック・パラリンピック等の開催を契機としたレガシーの形成

◆オリンピック・パラリンピアンへの派遣
 ・スポーツの素晴らしさや感動を伝えるとともに、スポーツマンシップ等への理解を深め、将来のスポーツ振興、人材養成につなげていくため、これまでの小学校に加えてスポーツイベント等にオリンピック・パラリンピックの出場経験者等を派遣する

(スケジュール)
 31年4月～元年6月 派遣先の募集・決定、オリンピック・パラリンピアンとの調整等
 元年7月～ 派遣

◇活動指標(アウトプット)

・オリンピック・パラリンピアン等の学校等スポーツイベントへの派遣: 10回程度

◇成果指標(アウトカム)

(数値目標)
 ・運動・スポーツに興味・関心を持った参加者の割合: 昨年度並(平成30年度: 98%)

年度当初は空欄

■大阪の文化・食の魅力発信

◆大阪文化芸術フェスの開催

- ・歴史の中で培ってきた大阪が誇る上方伝統芸能をはじめ、多彩で豊かな大阪の文化を核として、都市魅力を創造し、広く国内外に発信するとともに、インバウンドを含めた多くの観光客を呼び込むことをめざす

(スケジュール)

開催期間 元年9月中旬～11月中旬

◆食でおもてなし・多言語メニュー作成支援

- ・飲食店のための多言語メニュー作成支援システム「TASTE OSAKA」の普及を図り、多言語メニュー設置店を増やすとともに、旅行者向けサイトの機能の充実を図ることで、外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える

(スケジュール)

31年4月～ 利用者登録促進の取組みの実施、広報等による普及啓発

◇活動指標 (アウトプット)

- ・伝統芸能、演劇、音楽等、府内外のコンテンツを一堂に集め、府内全域で様々な公演等を集中的に実施する

◇成果指標 (アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・大阪の文化を核とした都市魅力を積極的に情報発信することで大阪のプレゼンス、都市格を高め、国内外から多くの人々をひきつける都市をめざす

◇活動指標 (アウトプット)

- ・「TASTE OSAKA」の利用者登録促進の取組みの継続実施
- ・旅行者向けサイトにおけるハラル対応をはじめとする機能強化

◇成果指標 (アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・利用登録店舗の増加を図り、外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える

(数値目標)

- ・府内飲食店のシステム登録数：2,600件
(平成30年度：1,307件)

年度当初は空欄

◆**アートカウンシル(*13)を通じた文化施策の向上**

・大阪府市文化振興会議が、29年11月に取りまとめた「大阪アートカウンシルのあり方について」に基づき、引き続き「評価・審査」を中心としつつ、「調査」や「企画」の取組を強化していく

(スケジュール)

評価・審査等を随時実施
アートカウンシル部会を月1回程度開催

◆**上方演芸資料館「ワッハ上方(*14)」の運営とリニューアルによる上方演芸の振興**

・上方演芸の歴史や魅力をこれまで以上に広く発信し、伝えていくため、収蔵資料を活用した展示やワークショップの開催等を通じて、府民はもとより、国内外の観光客にも上方演芸に触れ、楽しみ、体験できる施設をめざす

(スケジュール)

31年4月 リニューアルオープン
通年 展示、ワークショップの開催
元年10月 展示替え

◇活動指標 (アウトプット)

- ・府文化事業の評価：15件（平成30年度：16件）
- ・府補助事業の評価：34件（平成30年度：33件）
- ・府文化事業の改善につながる調査の実施
- ・芸術文化の担い手支援につながる意見交換会等の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
・引き続き、事業視察やヒアリング等を積極的に行い、現場のニーズや課題を把握し、可能なものから文化事業の改善に取り組むことにより、大阪の文化力の向上につなげていく

◇活動指標 (アウトプット)

- ・収蔵資料を活用した展示の実施回数（年4回以上）
- ・ワークショップの開催回数（月4回以上）

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
・ワッハ上方を活かし、「笑い」をはじめとする上方演芸の魅力を国内外に発信するとともに、上方演芸の文化を守り、継承していく

年度当初は空欄

◆江之子島文化芸術創造センター「enoco(*15)」の魅力向上と利用促進

・府の収蔵作品の活用（展示・貸出し）をはじめ、クリエイター等への交流の場の提供や、アートやデザインを活用した地域課題の解決のための支援を行うことで、引き続き文化創造拠点としての館の魅力向上に努める
加えて、地下のフリースペースの集客を高めるイベントや教育講座等を年間通じて実施するとともに、貸室の利用料金設定について見直しを行うなど、館の利用促進を図る

（スケジュール）

通年 クリエイター等への交流の場の提供
ワークショップ等イベントの実施
元年 8月、2年 1月、3月
収蔵作品を活用した展覧会の実施
元年 9月～11月
大阪文化芸術フェスとの連携事業の実施

◇活動指標（アウトプット）

- ・収蔵作品を活用した展覧会の開催：昨年度以上
（平成 30 年度：3 回）
- ・大阪文化芸術フェスとの連携事業の実施
- ・地下のフリースペースの集客を高めるイベントの実施：
昨年度以上（平成 30 年度：3 回）
- ・教育講座等の実施：昨年度以上
（平成 30 年度：23 回）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）
・府の収蔵作品の活用、クリエイターや府民の交流・活動場所の提供、アートやデザイン等の手法を活用した課題解決支援等を行うことで、enoco の魅力向上や利用者数の増加を図る

（数値目標）
・年間来館者数：延べ 110,000 人
（平成 30 年度：100,082 人）

年度当初は空欄

世界有数の国際都市を目指した受入環境の整備

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（取組結果）>
<p>■旅行者の利便性向上</p> <p>◆Osaka Free Wi-Fi の設置促進</p> <ul style="list-style-type: none">外国人旅行者からのニーズが高い通信環境の整備を促進するため、観光コース等を中心とした地域・エリアにおけるWi-Fi環境の集中的な整備を支援する新たに、利用が集中する地域・エリアにおける接続環境の改善や災害時における非常用電源装置の設置を支援する <p>(スケジュール) 31年4月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付</p> <p>◆大阪・梅田駅周辺のサイン整備</p> <ul style="list-style-type: none">大阪・梅田駅周辺において、共通ルールに基づくサイン整備を行うことにより、来阪者、特に急増する外国人旅行者の周遊性・利便性向上を図る <p>(スケジュール) 31年4月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none">Wi-Fi拠点の拡大促進のための補助を実施拠点整備に係る20事業への補助 (平成30年度：18事業)接続環境改善に係る30事業への補助非常用電源装置の設置に係る10事業への補助 <p>◇成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none">旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度のさらなる向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進 <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none">サイン整備に係る4事業者への補助 (平成30年度：3事業者) <p>◇成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none">主要ルートにおける共通サインの整備（～令和4年度）	<p>年度当初は空欄</p>

◆観光トイレ整備事業

・観光地において、デザイン性や機能性が高く、大阪の新たな観光資源となるような観光トイレを、民間からの企画提案に基づいて整備することで、観光客の利便性向上を図るとともに、さらなる観光誘客を促進

(スケジュール)

今年度中 トイレ整備、供用開始

◇活動指標 (アウトプット)

・デザイン性や機能性が高く、観光資源となりうる観光トイレの整備

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度のさらなる向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

■観光案内機能の強化

◆「トラベルサービスセンター大阪」の運営

・来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応する等、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する

(スケジュール)

今年度中 JR 新大阪駅にトラベルサービスセンターを開設

◇活動指標 (アウトプット)

・「トラベルサービスセンター大阪」の円滑な運営
・「トラベルサービスセンター新大阪(仮称)」の開設

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度のさらなる向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

(数値目標)

・利用者満足度：95%以上(平成30年度：97%)

年度当初は空欄

◆案内表示の多言語化の推進
(市町村等観光振興・宿泊施設補助・ストーリー補助等)

・《市町村等観光振興》
多言語による観光案内板の設置・改修をはじめ、公衆トイレの整備等、市町村及び公的な団体が実施する旅行者の受入環境整備事業を支援する

(スケジュール)

31年 4月 補助要綱改正・公募にかかる周知
元年 5月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付

・《宿泊施設補助》
多言語による案内板の設置・改修をはじめ、ホームページの多言語化や Wi-Fi 環境の整備等、宿泊施設が実施する旅行者の受入環境整備事業を支援する

(スケジュール)

31年 4月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付

◇活動指標 (アウトプット)

・市町村等における受入環境整備のための補助の実施
・30事業への補助 (平成30年度:18事業)

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度のさらなる向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

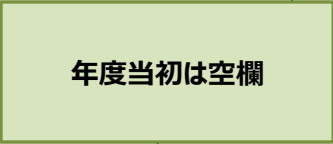
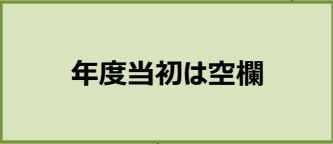
◇活動指標 (アウトプット)

・宿泊施設における受入環境整備のための補助の実施
・30施設に補助 (平成30年度:13施設)

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度のさらなる向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

年度当初は空欄

<p>・《大阪ストーリープロジェクト事業》 大阪の魅力スポットやそれらを巡るルート等にストーリー性を持たせた地域における観光資源の磨き上げを図るとともに、国内外から注目されるストーリーの創出や情報発信を強化し、観光客誘客の促進、地域の魅力あるまちづくりを促進</p> <p>(スケジュール) 元年 8 月末 補助事業の公募、決定 2 年 3 月末 補助事業完了</p>	<p>◇活動指標 (アウトプット) ・地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等に対し、補助を実施 ・大阪観光局や民間企業とも連携し、府域の観光コースとして PR</p> <p>◇成果指標 (アウトカム) (定性的な目標) ・国内外からの集客・周遊性の向上を図るとともに、府内全域への誘客を促進</p> <p>(数値目標) ・継続して取り組むストーリー：補助事業者が掲げる目標数値を達成した事業の割合 70%以上 ・新たに構築するストーリー数：2ストーリー以上</p>	
<p>■インバウンド (外国人) 受入環境の整備 ◆外国人相談の機能充実 ・在住外国人が入管法改正等により更に増加が見込まれる中、多文化共生の拠点機関をめざす大阪府国際交流財団 (OFIX) において、市町村等と連携し外国人相談機能の拡充を図る</p> <p>(スケジュール) 31 年 4 月～ 外国人相談窓口の機能拡充・運営 元年 6 月 外国人のための 1 日インフォメーションサービス (大阪市等と合同実施)</p>	<p>◇活動指標 (アウトプット) ・外国人相談窓口の機能拡充及び周知 (9 言語→11 言語、週 2 日の夜間及び月 2 回の日曜日対応) ・市町村等と連携した合同相談会の実施 (3 回)</p> <p>◇成果指標 (アウトカム) (定性的な目標) ・在住外国人が気軽に生活や就労等に関する相談ができる環境の整備</p>	

◆外国人の安全・安心の確保

・《外国人の災害時多言語支援の強化》

災害時に外国人の安心を確保するため、災害時多言語支援を強化する

- ・災害時に外国人旅行者に迅速、的確かつ分かりやすく情報提供するウェブサイト・アプリの開発・運営
- ・災害時に適切な対応ができるよう交通・宿泊事業者等向けの実践的な講座の実施
- ・多言語観光ボランティアの創設により、災害時を含めたボランティア体制の充実・強化

(スケジュール)

- 元年（年内） ウェブサイト及びアプリの開発・運営
- 元年 6月～ 事業者向け災害対応講座の実施
- 元年 8月 多言語観光ボランティア創設

・《外国人旅行者安全確保事業》

来阪外国人旅行者が急増する中、「新・大阪府地震防災アクションプラン（平成 27 年 3 月策定）」に基づき、外国人旅行者の安全確保に向け、情報提供の強化とともに、現場における支援体制の構築を図る

◇活動指標（アウトプット）

- ・交通事業者等と連携し災害時に必要な空港や鉄道等の情報を一元的に提供するウェブサイトの構築、プッシュ通知可能なアプリの開発
- ・ウェブサイト、アプリの利用促進に向けた PR 活動の実施
- ・事業者を対象とした実践的な講座の実施（10 回）
- ・多言語観光ボランティアの創設（100 人）

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・ウェブサイト及びアプリの運用を開始
- ・災害時に外国人の安全・安心を守るための環境を整備

- （数値目標）
- ・災害対応講座の受講者のうち、多言語による事前の備えを行った割合：80%以上
- ・災害時多言語ボランティアの増加：30 人（平成 30 年度 230 人→令和元年度 260 人）

◇活動指標（アウトプット）

- ・緊急時お役立ち情報ポータルサイト広報カードの配布数を拡大するとともに、新たな配布場所を拡充
- ・市町村や観光関連事業者に対して、「支援フロー」、「ガイドライン」の周知啓発を実施

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・災害情報を入手しやすい仕組みづくりと、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす

年度当初は空欄

◆ウェルカム大阪おもてなし事業

・府民が外国人旅行者と自然に交流を図ることができるよう、平易な英語によるコミュニケーション講座を開催するとともに、府内市町村と連携し、多言語観光ボランティアの養成等を行うプラットフォームを形成する

(スケジュール)

31年4月 府民向け講座の実施事業者の公募

◆適法民泊施設の普及促進に向けた取り組み

<宿泊施設おもてなし環境整備促進事業費補助金、民泊対策事業補助金>
・適法民泊の普及促進のため、特区民泊（*16）の認定を受けようとする事業者等への支援とあわせて、府内の保健所設置市が実施する民泊対策を支援する

(スケジュール)

31年4月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付

◇活動指標（アウトプット）

・府民を対象とした外国人旅行者に対するおもてなし講座の開催
・多言語観光ボランティアの養成等を行うプラットフォームの形成

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）
・大阪全体のおもてなし力の向上によるリピーター確保や府内全域への集客促進

（数値目標）
・おもてなし講座の参加者のうち、外国人旅行者と英語によるコミュニケーションができるようになったと感じた割合：70%以上

◇活動指標（アウトプット）

・特区民泊の認定を受けようとする事業者等に対して必要となる設備の整備等に対する補助を実施
75施設に補助（平成30年度：47施設）
・保健所設置市が行う違法民泊対策のための取組みに対する補助の継続（～令和2年度まで）

年度当初は空欄

大阪の国際化の推進

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（取組結果）>
<p>■外国人留学生の受入れと定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学や経済団体等と連携し、留学生の受入れを促進するとともに就職支援を実施し、優れた外国人材の大阪定着を図る <p>(スケジュール)</p> <p>元年 5月～ 就職セミナーの実施 元年 10月～ 就職対策講座・企業見学会の実施</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学等と連携し大阪への留学生の受入れを促進する 外国人留学生向け就職セミナーの実施（3回） 就職対策講座及び企業見学会の実施（4回） <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生等優れた人材の受入れを拡大 外国人留学生の大阪での就職を促進 （数値目標） 府内外国人留学生数：27,000人 （平成30年度 24,751人） 府内企業に対する理解が深まった者の割合：80%以上 府内企業への就職意欲が向上した者の割合 : 80%以上 	<p>年度当初は空欄</p>
<p>■グローバル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> おおさかグローバル塾（*17）により、海外の大学での学位取得をめざす大阪の高校生を支援する グローバル体験プログラム（*18）の参加をきっかけに、外国人に対する英語でのコミュニケーション感覚・能力の必要性に気付かせ、海外に興味を持つ若者の裾野を広げる <p>(スケジュール)</p> <p>元年 5月～2年 2月 おおさかグローバル塾の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月～7月 前期講座 8月 英国リーズ大学短期留学、英語力測定 9月～翌年 2月 後期講座、英語力測定（IELTS） <p>元年 5月～2年 2月 グローバル体験プログラムの実施</p>	<p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界で通用するグローバル人材の育成 グローバルな視野をもった若者の育成 <p>（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> おおさかグローバル塾修了者が 海外進学レベルの英語力を習得した割合：90%以上 （平成30年度：45%） グローバル体験プログラム参加者のうち 英語の習得意欲が高まった割合：95%以上 （平成30年度：94%） 海外に対する関心が高まった割合：95%以上 （平成30年度：96%） 	

■ 外国公館や友好交流先との連携強化による国際交流の促進

・在関西総領事館等との意見交換等の開催や友好交流先との交流を深めることにより、大阪の魅力を発信し、国際交流機能の強化を図る

(スケジュール)

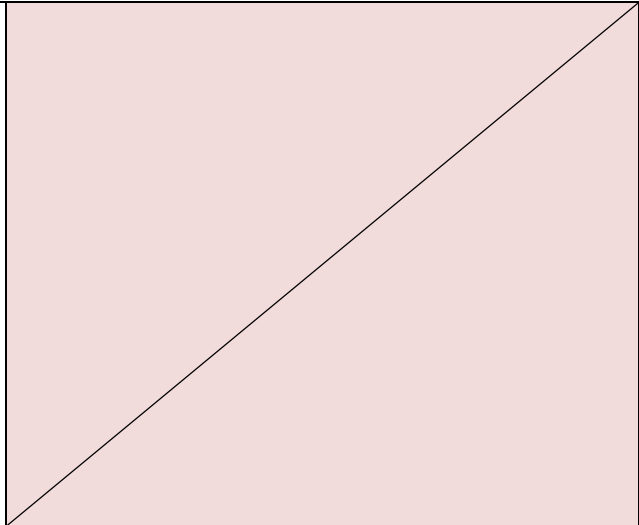
元年 7月～2年 1月 高校生の相互派遣
 (インドネシア東ジャワ州・ベトナムホーチミン市)
 元年 秋頃 在関西総領事館との意見交換会
 元年 10月 文化芸術フェスティバルへの友好交流先からの参加

活動指標 (アウトプット)

・在関西総領事館との意見交換会の実施
 ・友好交流先との交流事業の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
 ・在関西総領事館との交流機能の強化
 ・友好交流先との友好交流の強化



ツーリズム EXPO ジャパン 2019 等開催支援事業について

<今年度何をするか (取組の内容、手法・スケジュール) >

■ ツーリズム EXPO ジャパン 2019 (*19) を通じた大阪の PR

・ツーリズム EXPO ジャパン 2019 開催初日に行われるレセプションの実施を支援するとともに、商談会において、海外バイヤーやメディアに対し、府内の観光資源を PR する市町村等の出展を支援

(スケジュール)

元年 10月 24～27日 ツーリズム EXPO ジャパン 2019
 ※同時開催 VISIT JAPAN トラベル&MICE マート(VJTM)

<何をどのような状態にするか (目標) >

◇活動指標 (アウトプット)

・ツーリズム EXPO ジャパン 2019
 WELCOME RECEPTION における大阪らしさの演出
 ・VJTM への市町村等の出展支援

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)
 ・国内外からの観光集客及び府域周遊の一層の促進を図る

<進捗状況 (取組結果) >

年度当初は空欄

